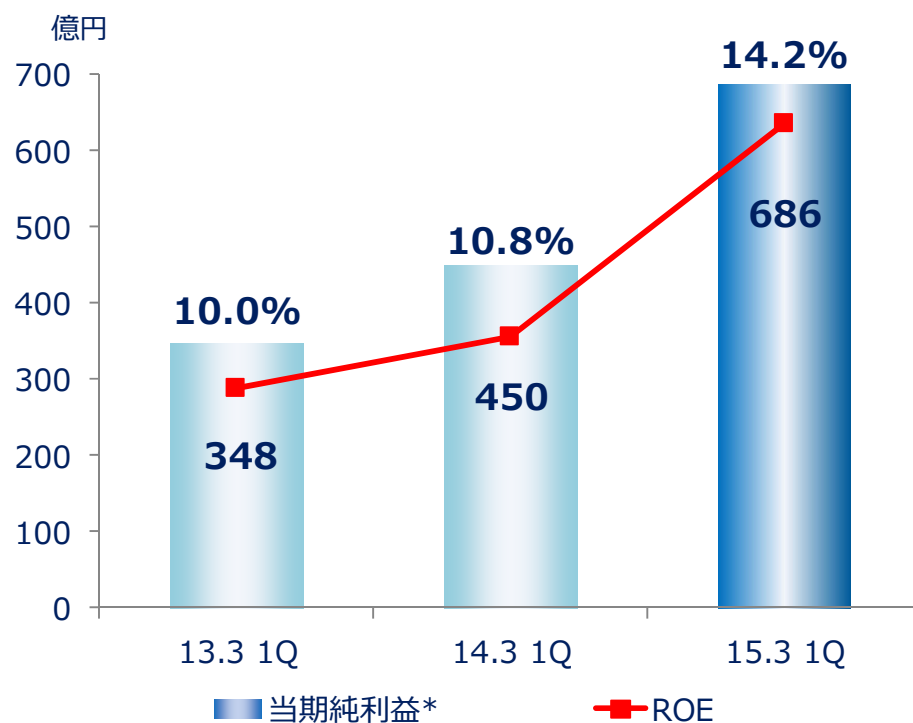


**オリックス株式会社**  
**2015年3月期第1四半期**  
**決算説明資料**

**2014年8月5日**

# 業績総括

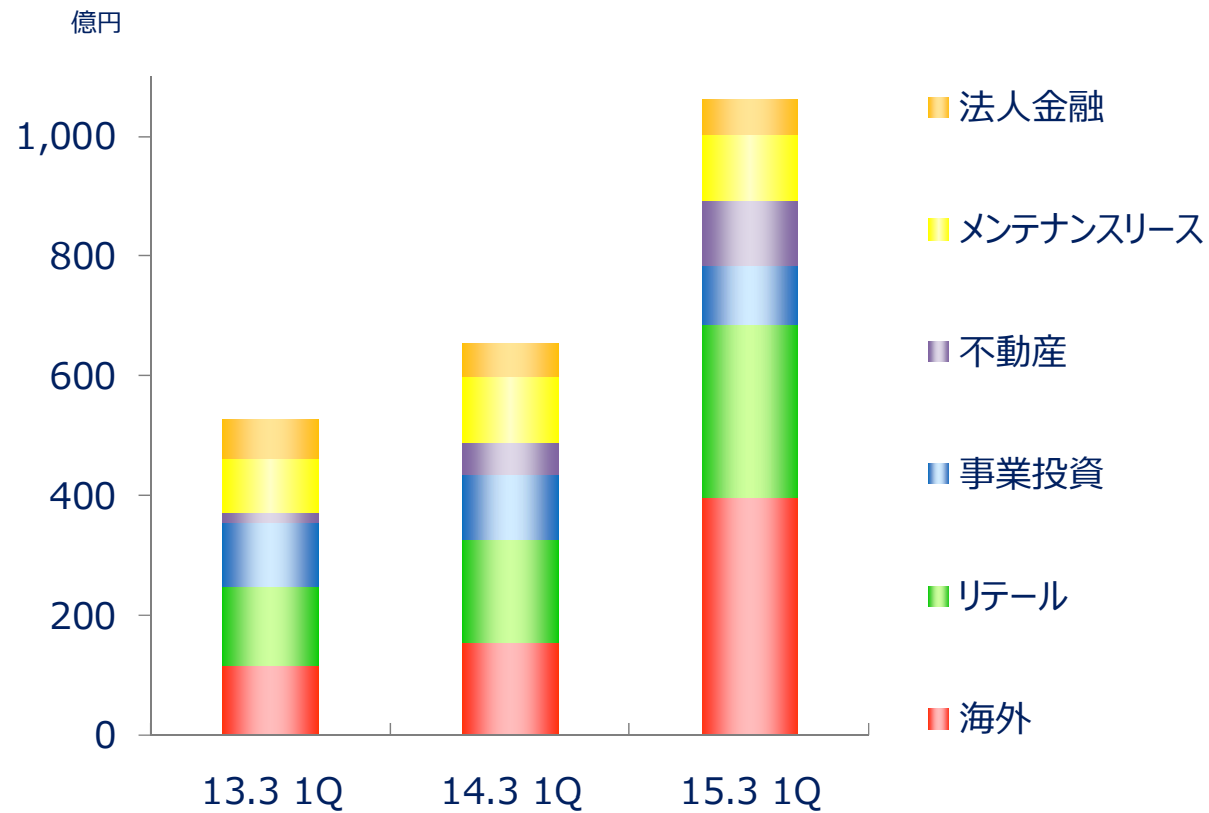
- ✓ 当期純利益は前年同期比52%増の686億円、  
通期目標2,100億円に対して33%の進捗
- ✓ ROEは14.2%を達成



\*「当期純利益」は「当社株主に  
帰属する当期純利益」を指します。

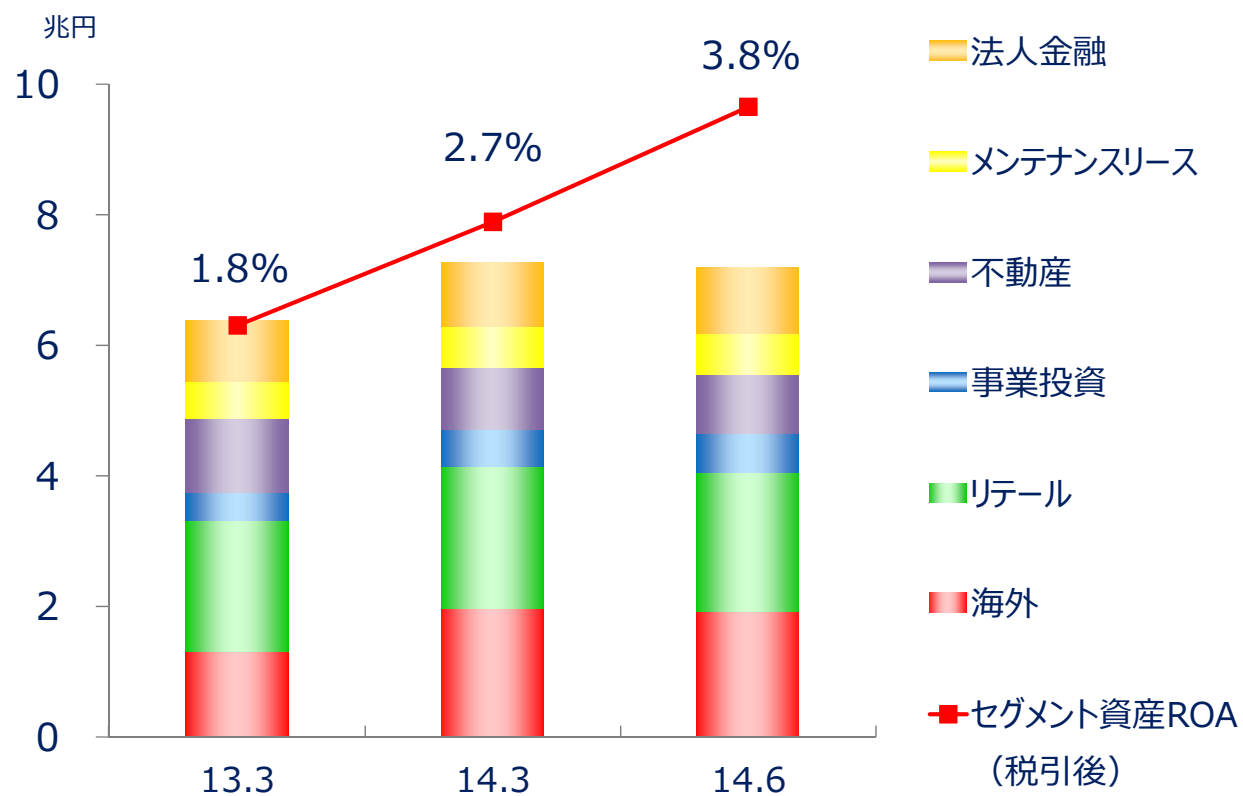
# 業績総括 セグメント利益

- ✓ 海外とリテールが全体を力強く牽引
- ✓ 不動産も大幅増益、ほか 3 セグメントも堅調



# 業績総括 セグメント資産

✓ 資産は横ばい、ROAは3.8%へ上昇



# セグメント別業績

## ①法人金融サービス

(億円)	13.3期	14.3期	14.3期 1Q	15.3期 1Q	前年同期比
ベース利益	261	221	50	53	107%
キャピタルゲイン	3	19	2	4	-
貸倒引当金繰入	-3	10	1	1	-
減損	-1	-2	0	0	-
セグメント利益	259	249	52	59	112%

セグメント資産	9,433	9,921	9,286	9,948	-
ROA (税引後)	1.7%	1.6%	1.4%	1.5%	-

### 実績

- ✓ 順調な手数料収益によりベース利益が増加
- ✓ 新規実行高は前年同期比 2 割増

### トピックス

- ✓ 太陽光関連ビジネスが引続き好調
- ✓ 生命保険などその他手数料ビジネスも堅調

# セグメント別業績

## ②メンテナンスリース

(億円)	13.3期	14.3期	14.3期 1Q	15.3期 1Q	前年同期比
ベース利益	349	387	111	110	100%
キャピタルゲイン	0	1	0	0	-
貸倒引当金繰入	1	-4	-1	0	-
減損	-1	-13	0	0	-
セグメント利益	349	371	110	110	100%

セグメント資産	5,493	6,220	5,671	6,371	-
ROA (税引後)	4.1%	3.9%	4.9%	4.5%	-

### 実績

- ✓ 自動車の新規実行が堅調、前期末に比べて資産が増加
- ✓ リース収益の増加と中古車売却益の減少等によりベース利益は同水準を維持

### トピックス

- ✓ 好調なトラックレンタル店舗を4拠点追加、全国で50拠点に
- ✓ 女性向けなど、個人を対象とした自動車リース商品を拡充

# セグメント別業績

## ③不動産

(億円)	13.3期	14.3期	14.3期 1Q	15.3期 1Q	前年同期比
ベース利益	250	229	70	47	67%
キャピタルゲイン	165	225	48	86	-
貸倒引当金繰入	4	-21	1	0	-
減損	-364	-254	-63	-24	-
セグメント利益	56	180	55	108	196%

セグメント資産	11,332	9,624	10,848	9,161	-
ROA (税引後)	0.3%	1.1%	1.2%	3.0%	-

### 実績

- ✓ 良好な環境を背景に資産を圧縮、キャピタルゲインも増加
- ✓ 貸引・減損の減少によりROAが3.0%に上昇

### トピックス

- ✓ 宇奈月ニューオータニホテルを取得、運営開始
- ✓ 今後需要が見込まれる物流施設で35件目の投資を決定

# セグメント別業績

## ④事業投資

(億円)	13.3期	14.3期	14.3期 1Q	15.3期 1Q	前年同期比
ベース利益	291	299	67	49	72%
キャピタルゲイン	190	686	44	51	-
貸倒引当金繰入	-55	-26	0	0	-
減損	-76	-18	-5	-1	-
セグメント利益	349	941	107	98	92%

セグメント資産	4,443	5,657	4,721	5,684	-
ROA (税引後)	4.7%	11.5%	5.8%	4.4%	-

### 実績

- ✓ サービサー事業からの利益は減少
- ✓ PE投資と環境エネルギー関連の利益が拡大

### トピックス

- ✓ 奥飛驒に続き、2ヶ所で地熱発電の事業化に向けた調査を新たに開始
- ✓ ネットジャパン、アークへの投資を発表



# セグメント別業績

## ⑤リテール

(億円)	13.3期	14.3期	14.3期 1Q	15.3期 1Q	前年同期比
ベース利益	421	495	156	139	89%
キャピタルゲイン	37	39	28	154	-
貸倒引当金繰入	-26	-35	-12	-3	-
減損	0	0	0	0	-
セグメント利益	432	499	172	290	168%

セグメント資産	19,941	21,670	20,219	21,311	-
ROA (税引後)	1.4%	1.5%	2.1%	3.5%	-

### 実績

- ✓ 生命保険運用益は減少したが、引き続き高水準のベース利益を維持
- ✓ マネックスグループの株式売却益を計上

### トピックス

- ✓ ハートフォード生命の株式取得を完了
- ✓ 終身保険「ライズ」を新発売、第一分野商品を拡充

# セグメント別業績 ⑥海外

(億円)	13.3期	14.3期	14.3期 1Q	15.3期 1Q	前年同期比
ベース利益	375	656	129	164	127%
キャピタルゲイン	193	209	65	239	-
貸倒引当金繰入	-24	-57	-12	-4	-
減損	-16	-111	-26	-3	-
セグメント利益	528	697	155	397	256%

セグメント資産	13,184	19,721	13,755	19,345	-
ROA (税引後)	2.7%	2.6%	2.8%	5.2%	-

## 実績

- ✓ 前年同期は米州が好調、ロベコの貢献もあり  
ベース利益は27%増
- ✓ STXエナジーの株式売却益を計上

## トピックス

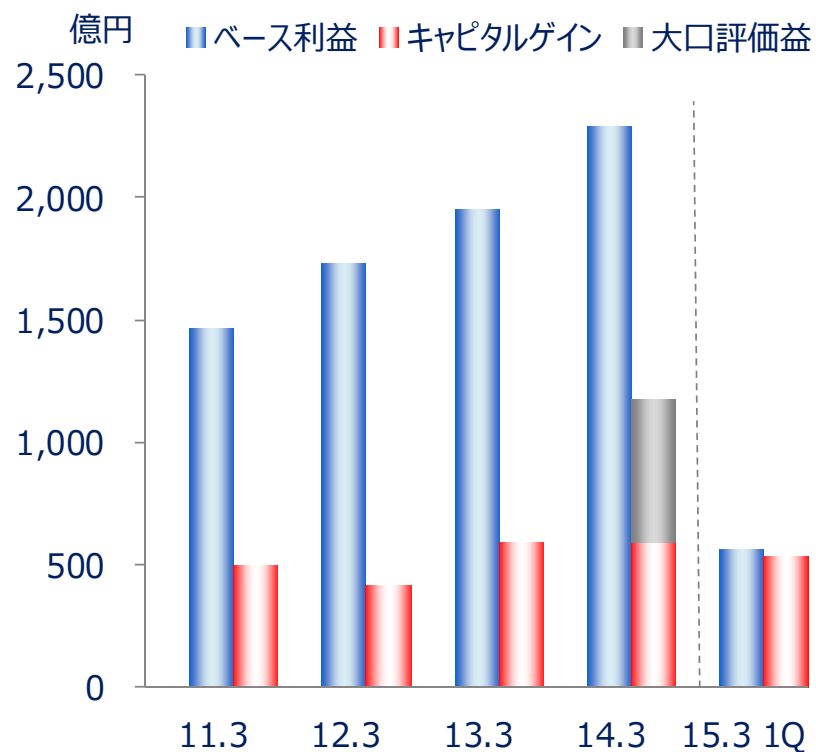
- ✓ 韓国で現代ロジスティクスへの出資を  
決定
- ✓ ロベコの純資金流入が好調、  
過去最高の運用資産残高

# ベース利益・キャピタルゲインの推移

✓ ベース利益は着実に成長、キャピタルゲインも安定的

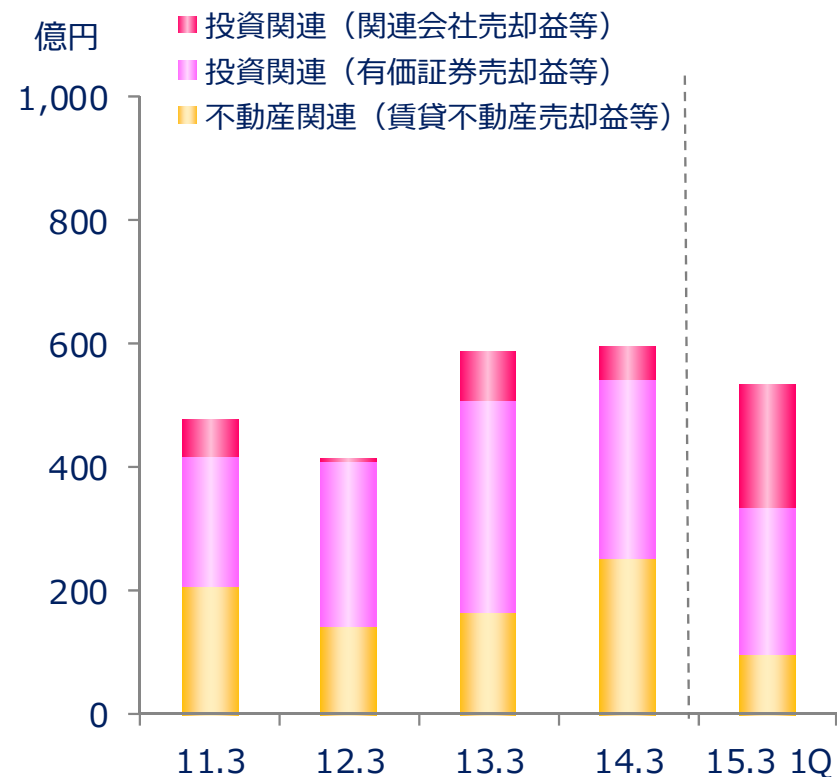
## ベース利益とキャピタルゲイン

(セグメント合計)



## キャピタルゲイン内訳

(14.3期の大口評価益を除く、セグメント合計)

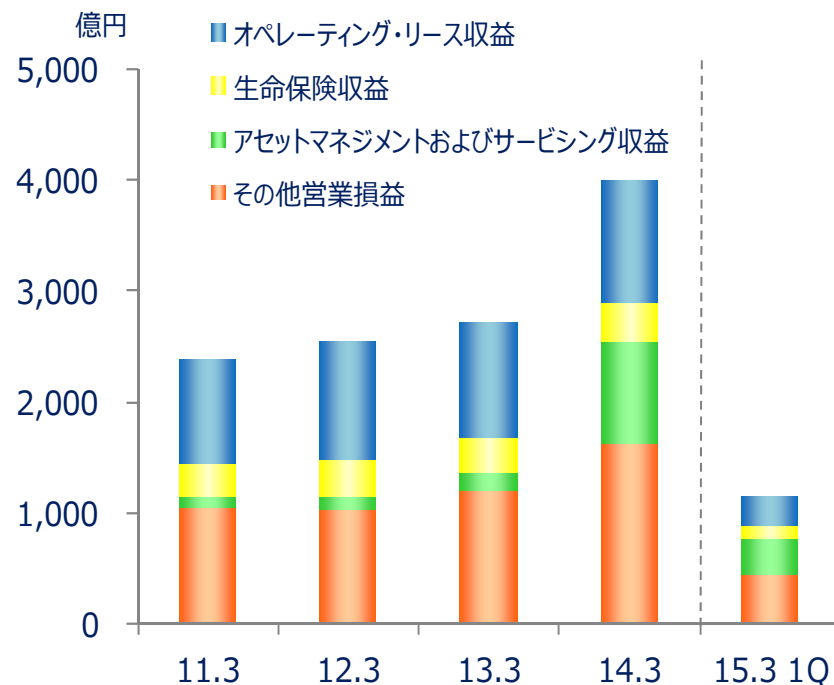


# ベース利益の内訳

- ✓ サービス系収益は「その他営業損益」が牽引役
- ✓ 「その他」はメンテナンスリース、不動産、事業投資も拡大傾向

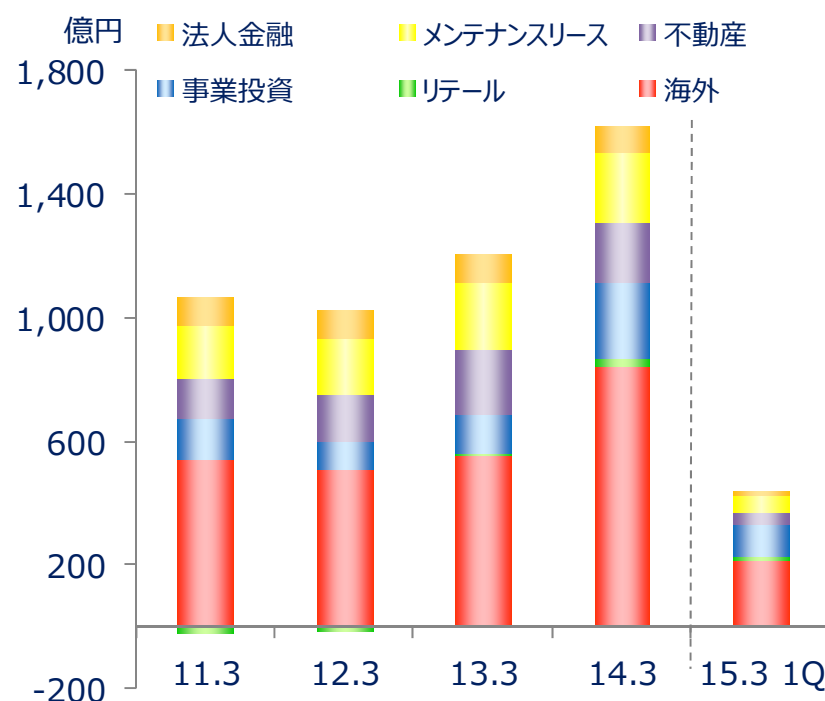
サービス系収益の内訳\*1

(セグメント合計)



\*1 オペレーティング・リース収益、生命保険料収入、その他の営業収入等で、対応する費用は控除済み

その他営業損益の内訳\*2

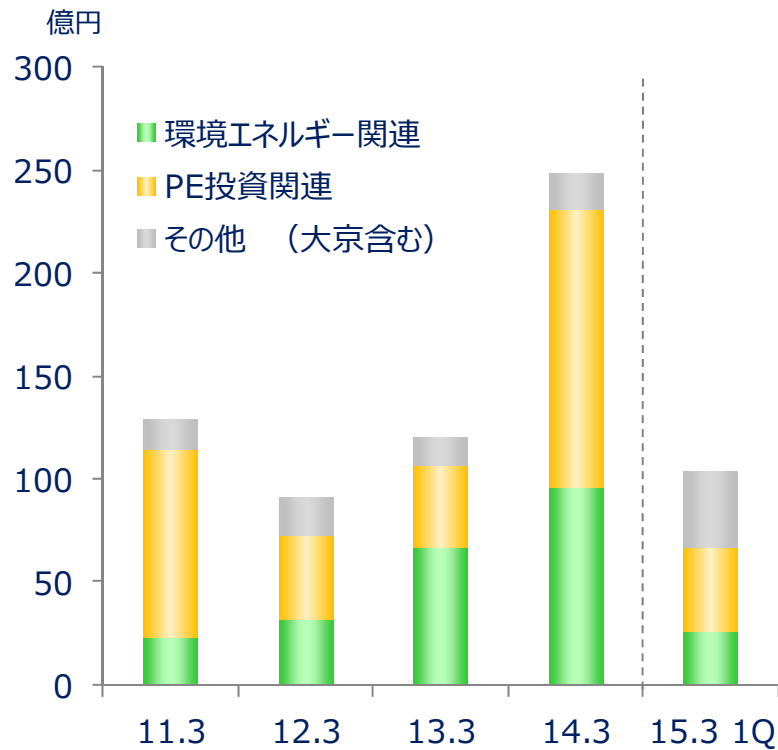


\*2 「その他の営業収入」-「その他の営業費用」

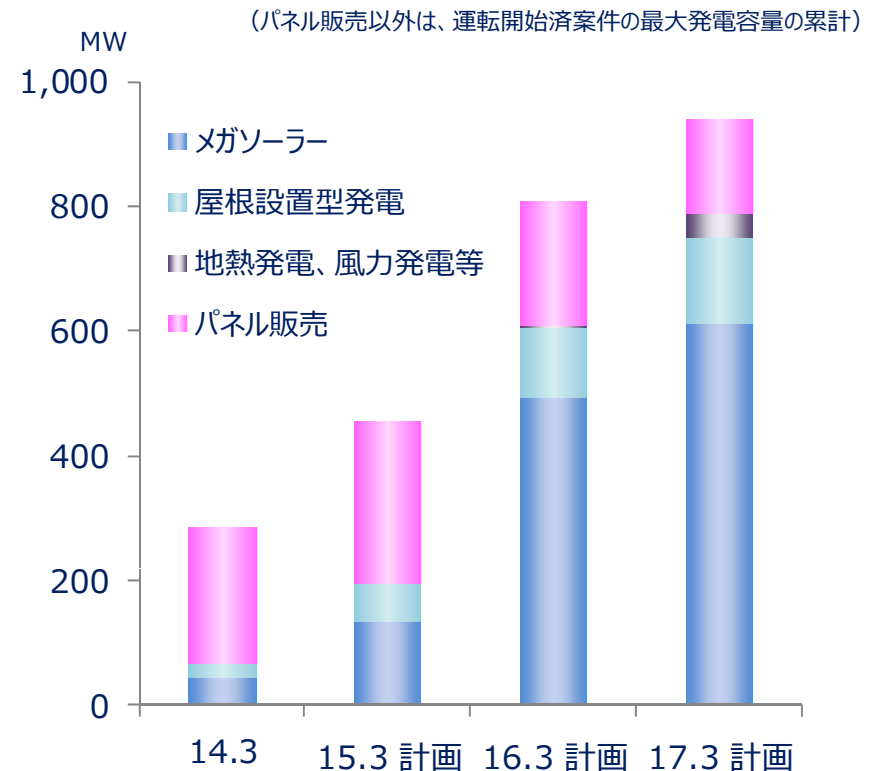
# 事業投資セグメントの状況

- ✓ 環境エネルギーとPE投資が「その他営業損益」拡大に寄与
- ✓ 再生可能エネルギー関連の事業規模が大きく拡大

その他営業損益：事業投資



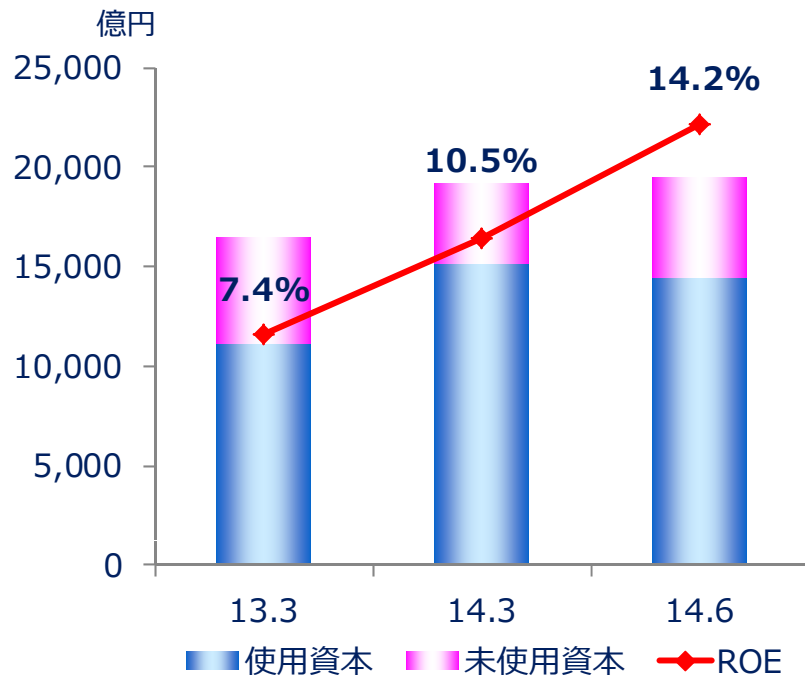
再生可能エネルギー関連の規模



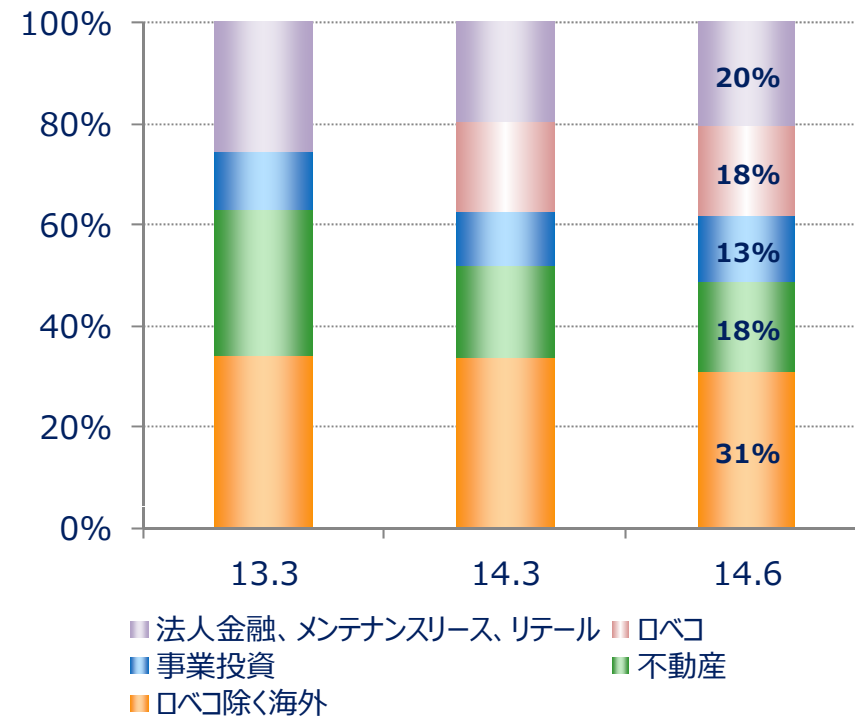
# 資本の使用状況

- ✓ 株主資本使用率は7割強を維持
- ✓ ポートフォリオを入れ替え、資本の充足をコントロール

株主資本の使用状況とROE



セグメント別使用状況



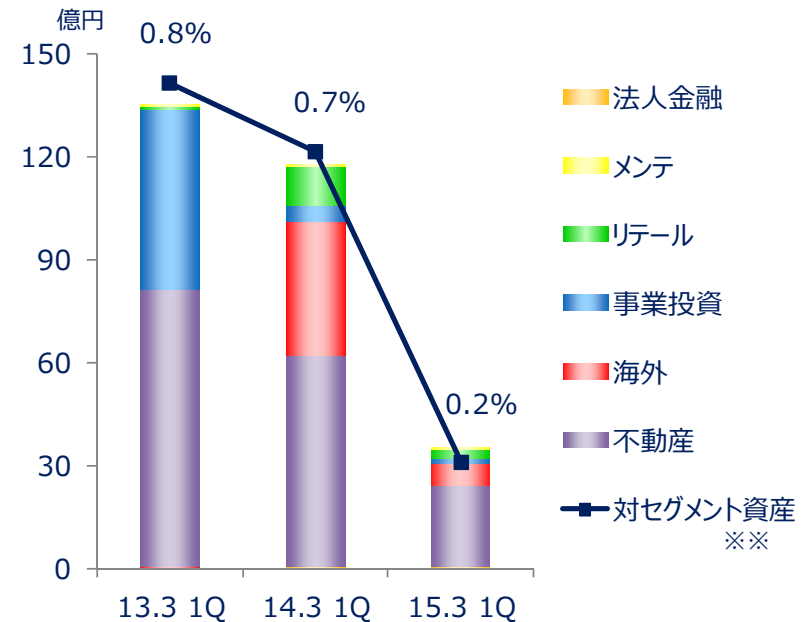
# アセットクオリティ

✓ 個別引当対象債権に対する保全率は93%

個別引当対象貸付金の保全率

(億円)	13.3	14.3	14.6
個別引当対象貸付金債権額 (a)	1,681	1,200	1,096
回収見込額	1,159	777	※ 710
不動産担保等で保全されている額	1,040	691	630
保全額 (b)	1,562	1,114	1,016
不動産担保等で保全されている額	1,040	691	630
貸倒引当金残高 (個別引当)	522	423	386
保全率 (b)/(a)	92.9%	92.8%	92.7%

貸倒繰入・減損の推移



※個別引当対象貸付金債権額のうち担保等から全額回収が見込める債権額 (201億円) および要引当対象債権額のうち担保等からの回収が見込める債権額 (509億円) の合計

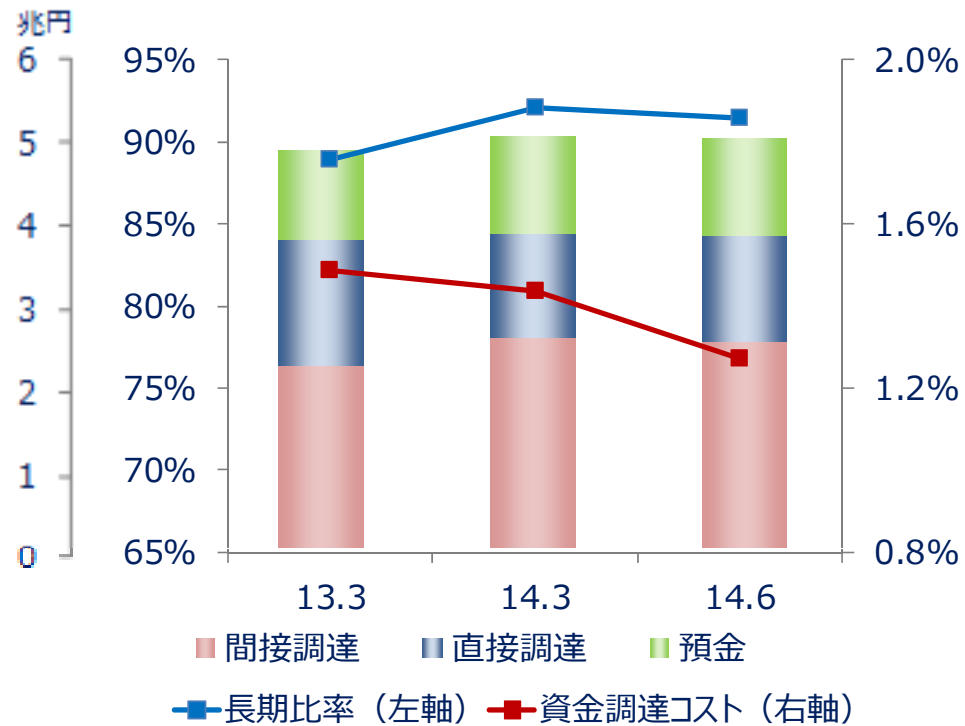
※※ (貸倒繰入 + 減損のセグメント合計) ÷ セグメント資産の平均残高、年換算値

# 資金調達構造

✓ 調達の安定化とコストコントロールの両方を実現

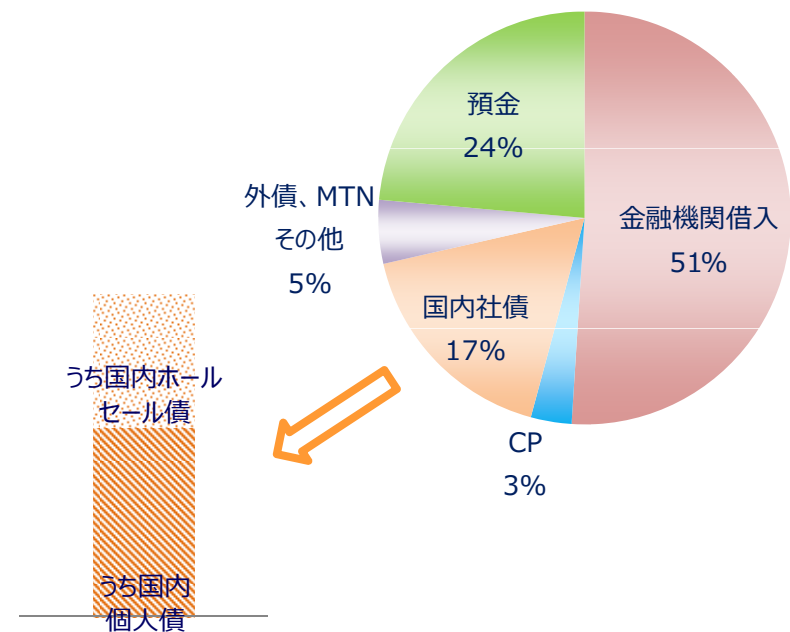
## 調達内訳・長期比率・コストの推移

(調達残高と長期比率にはABS・CMBSを含まず)



## 資金調達の内訳

(14.6末時点、ABS・CMBSを含まず)

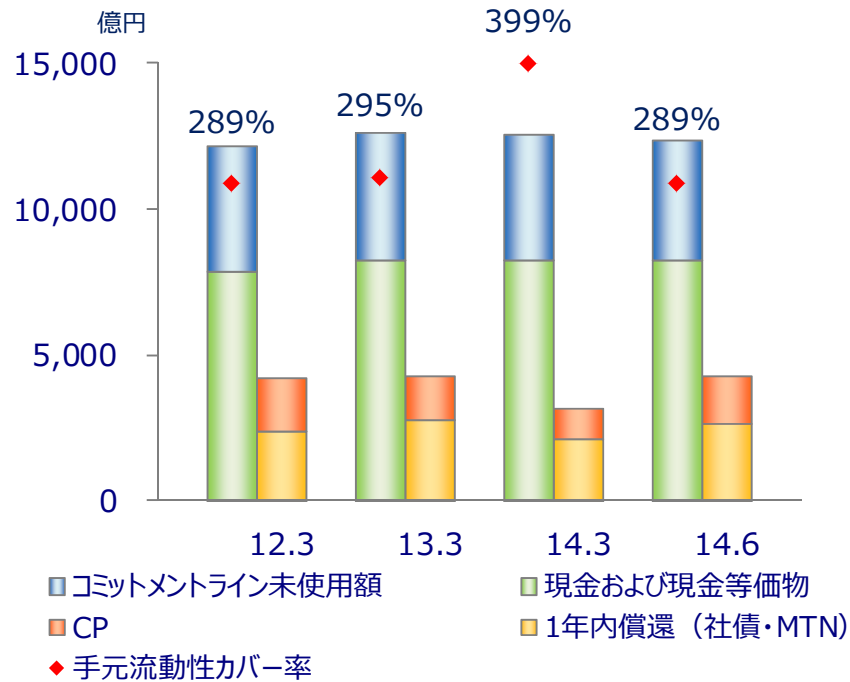




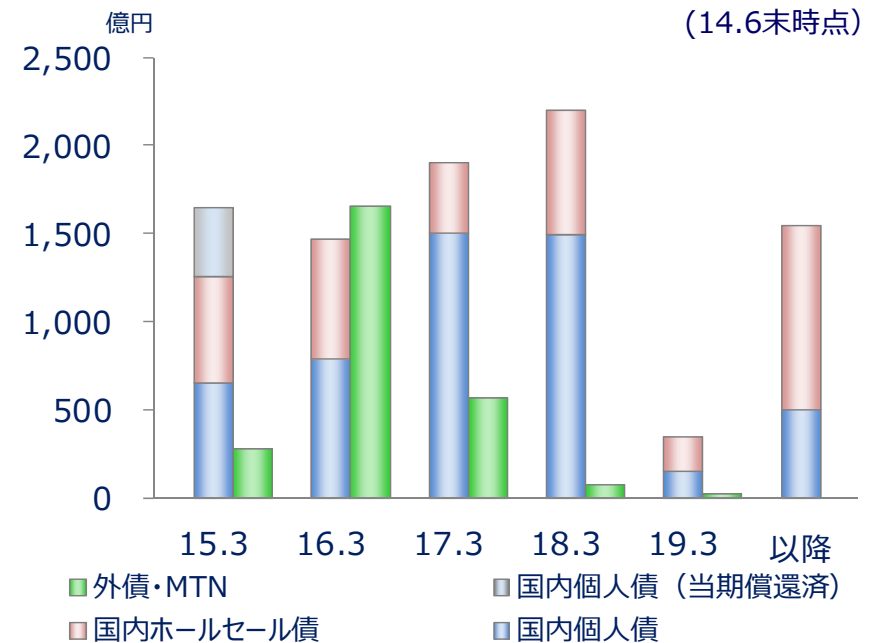
# 手元流動性と社債発行実績

- ✓ 高い手元流動性を維持
- ✓ 7年・10年社債を発行し、長期化を推進

市場性短期債務に対する手元流動性



社債発行実績・償還スケジュール (14.6末時点)



国内公募債発行実績

銘柄	発行日	発行金額	期間 (年)	発行区分	クーポンレート	T スプレッド
第178回	2014/6/16	300億円	7	個人債	0.552%	25bp
第179回	2014/6/5	200億円	10	ホールセール債	0.900%	32bp

# まとめ

---

**当期純利益は686億円、通期目標の33%を達成**

**セグメント資産ROAは3.8%、ROEは14.2%に上昇**

**「金融＋サービス」の加速化が着実に進展しつつある**

---

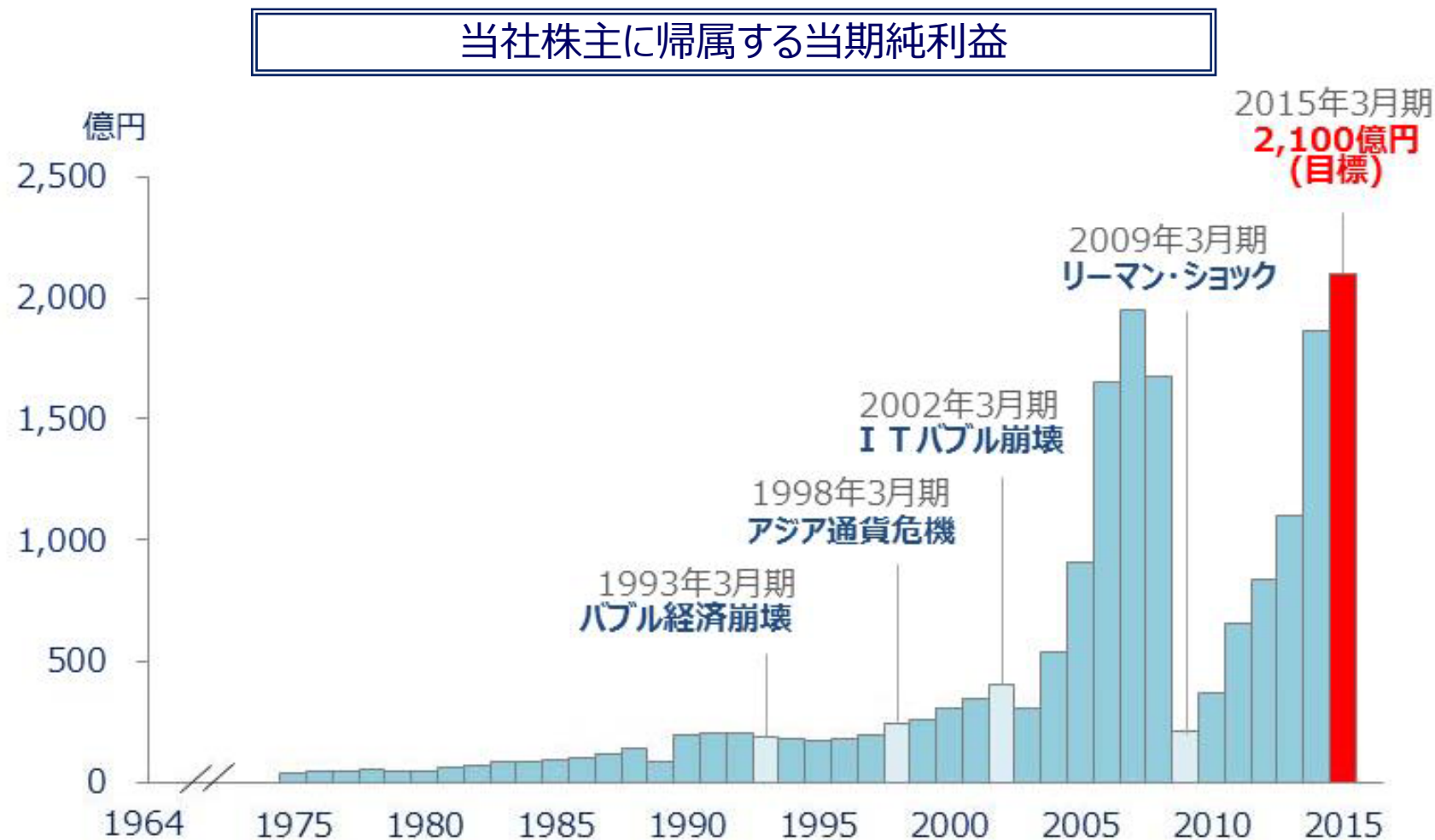
(空白)

---

# 補足資料

# 補足資料 (1) オリックスについて 持続的な成長

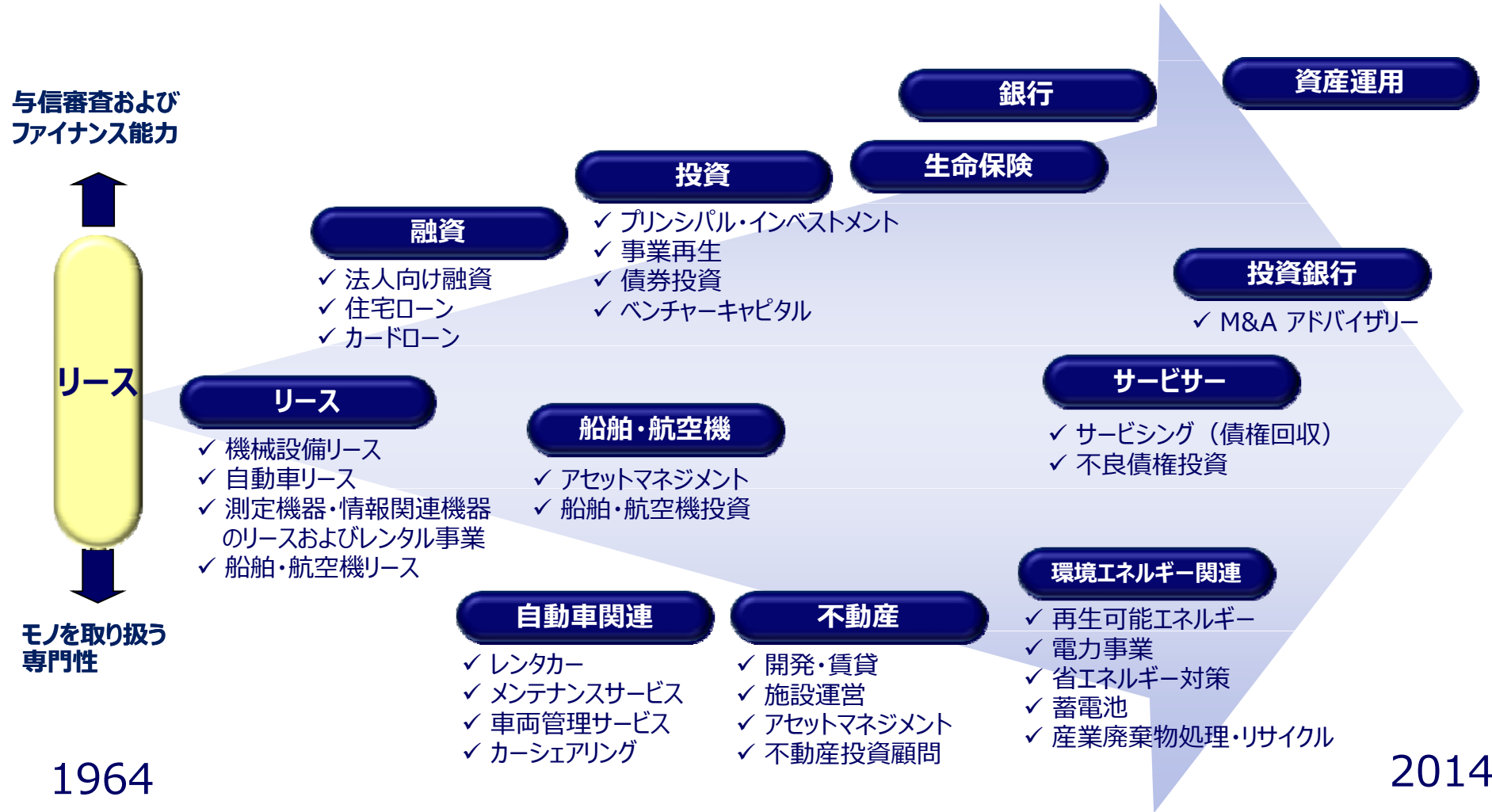
✓ 15年3月期に過去最高益の更新を目指す



# 補足資料 (2) オリックスについて

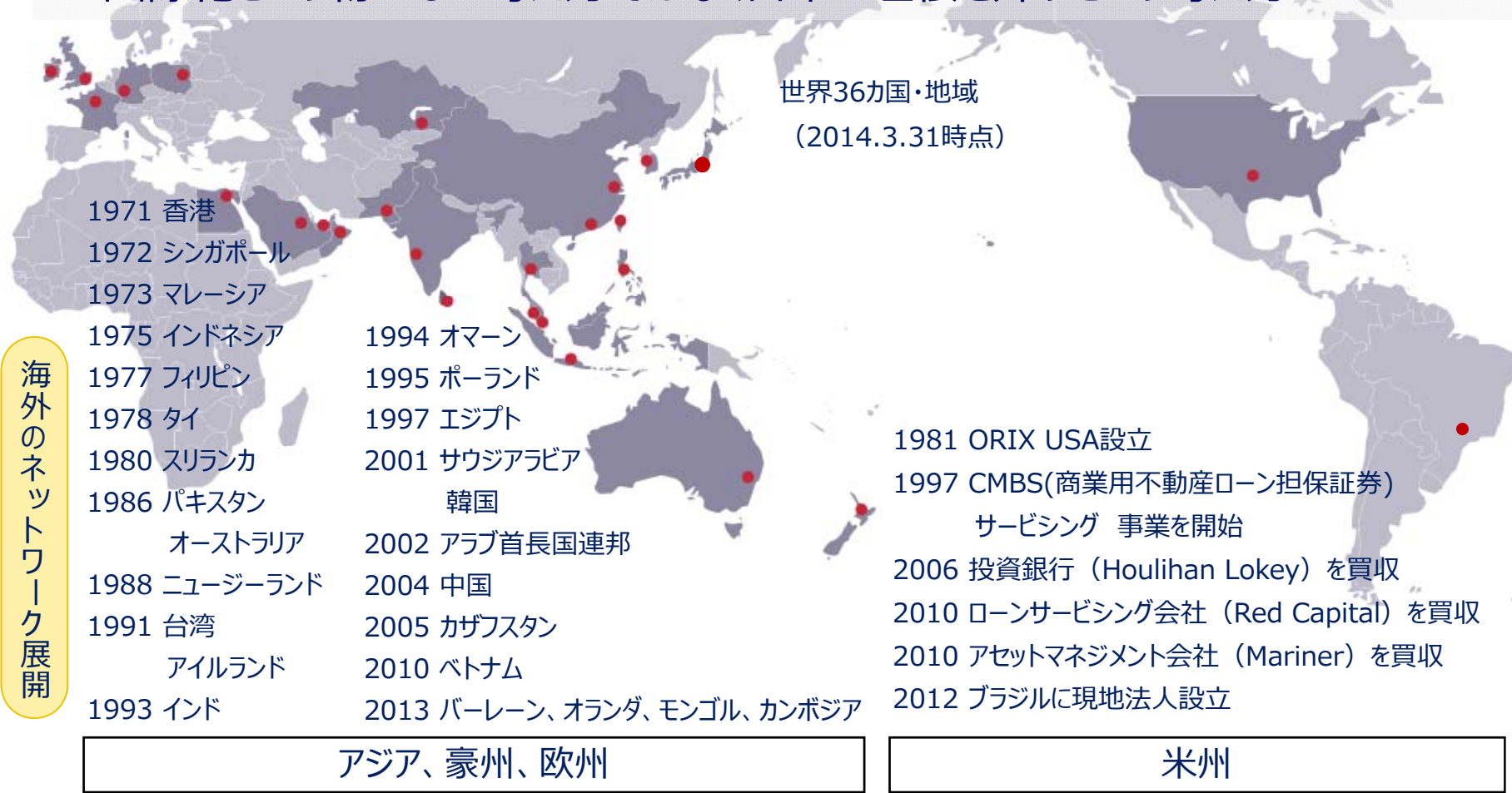
事業の専門性とグループの総合力

✓ 「金融」と「モノ」の専門性を高めながら、隣へ、そのまた隣へと事業展開



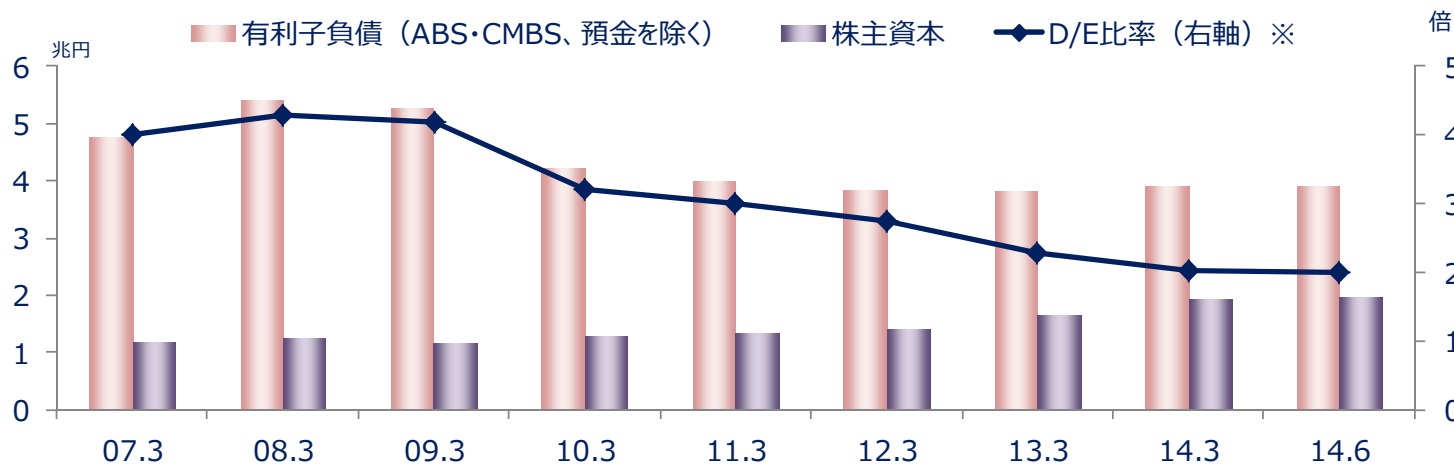
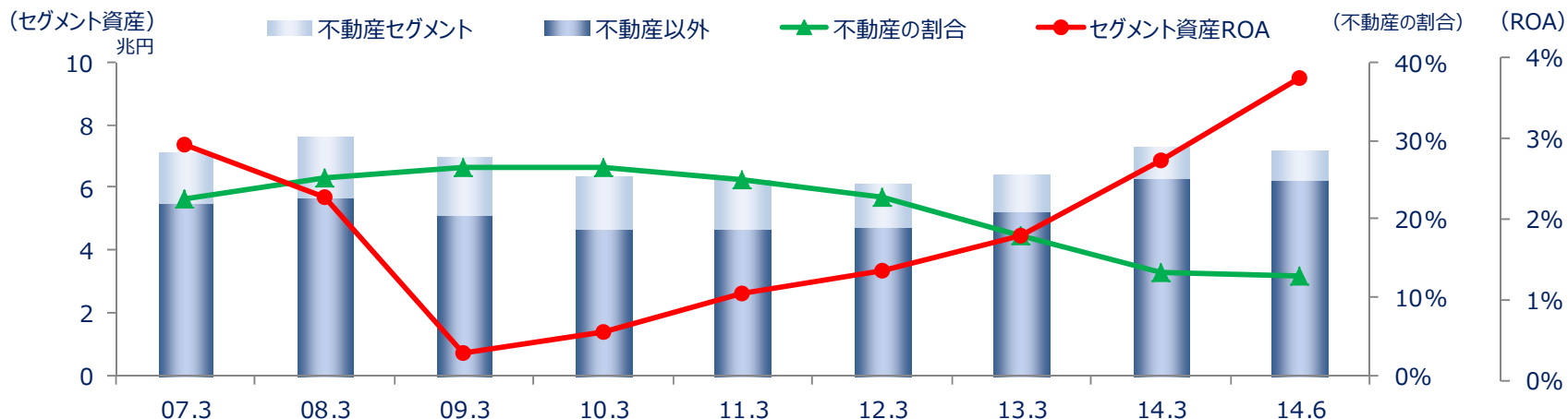
# 補足資料 (3) オリックスについて 国内外に広がるネットワーク

- ✓ 1971年の香港を皮切りに、国内で培ったノウハウを元に海外展開
- ✓ 国際化という物々しい考え方ではなく日本の垣根を外すという考え方



# 補足資料 (4) バランスシート構造の変化

✓ 収益性の向上、健全性の強化を並行して進めている

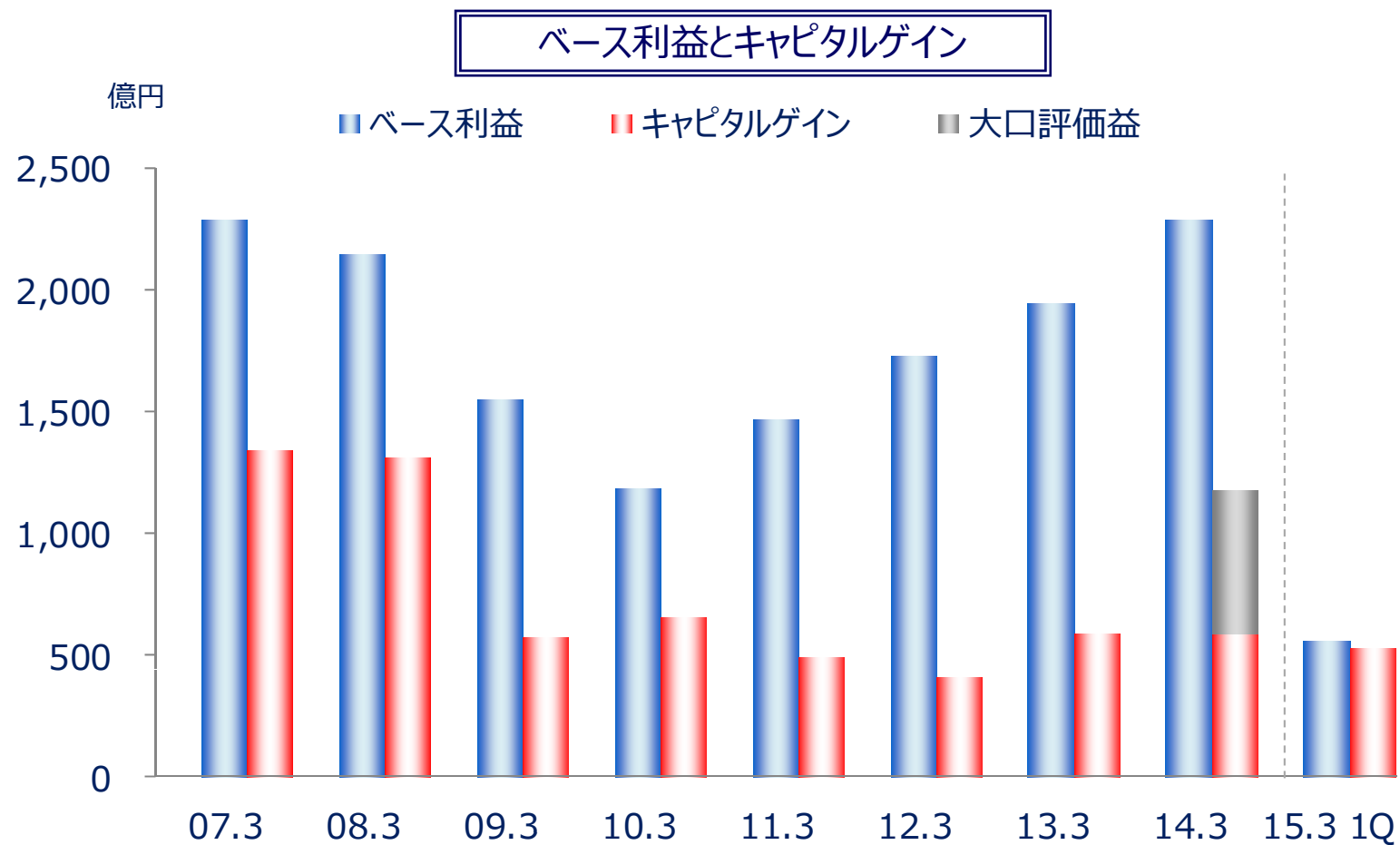


※ 変動持分事業体(VIE)の連結に伴う特定の資産や負債、および利益剰余金への影響を控除し、調整後で表示しています。



## 補足資料 (5) 収益構造の変化

- ✓ ベース利益を着実に成長させ、キャピタルゲインの安定感も追求



# 補足資料 (6) 業績推移総括

(単位：億円)

	13.3期	14.3期	14.3期 1Q	15.3期 1Q
営業収益	10,558	13,417	2,761	4,377
当期純利益 ※1	1,119	1,868	450	686
セグメント資産	63,827	72,814	64,500	71,820
総資産	84,397	90,694	82,189	89,807
株主資本	16,436	19,187	16,902	19,435
株主資本比率 ※2	21.4%	21.8%	22.0%	22.2%
ROE	7.4%	10.5%	10.8%	14.2%
セグメント資産ROA	1.8%	2.7%	2.8%	3.8%
D/E比率 ※2	2.3倍	2.0倍	2.2倍	2.0倍

※1 当社株主に帰属する当期純利益

※2 米国会計基準に準拠していない財務指標です。米国会計基準に準拠して計算および表示された最も直接的に比較できる財務指標との調整表につきましては、31ページおよび32ページを参照下さい。

## 補足資料 (7) セグメント別利益

(単位：億円)

	13.3期	14.3期	14.3期 1Q	15.3期 1Q	前年同期比
法人金融サービス	259	249	52	59	112%
メンテナンスリース	349	371	110	110	100%
不動産	56	180	55	108	196%
事業投資	349	941	107	98	92%
リテール	432	499	172	290	168%
海外	528	697	155	397	256%
セグメント利益合計	1,973	2,936	653	1,062	163%

税引前当期純利益に、非継続事業からの損益（税効果控除前）、非支配持分に帰属する当期純利益および償還可能非支配持分に帰属する当期純利益を加減しています。

## 補足資料 (8) セグメント別資産

(単位：億円)

セグメント別	13.3期	14.3期	15.3期 1Q
法人金融サービス	9,433	9,921	9,948
メンテナンスリース	5,493	6,220	6,371
不動産	11,332	9,624	9,161
事業投資	4,443	5,657	5,684
リテール	19,941	21,670	21,311
海外	13,184	19,721	19,345
セグメント資産合計	63,827	72,814	71,820

## 補足資料 (9) 海外セグメントにおける地域別・事業ライン別資産

(単位：億円)

地域別	13.3期	14.3期	15.3期 1Q
米州	4,759	5,181	6,214
アジア・豪州	4,924	6,556	5,436
中華圏	1,804	1,966	1,987
中東・欧州	159	419	401
□ベコ	-	3,751	3,685
その他	1,537	1,849	1,622
合計	13,184	19,721	19,345

事業ライン別	13.3期	14.3期	15.3期 1Q
米州	4,759	5,181	6,214
米州以外のリース事業	5,030	5,675	5,755
米州以外の投資事業	3,395	5,115	3,691
□ベコ	-	3,751	3,685
合計	13,184	19,721	19,345

# 補足資料 (10) 不動産セグメント資産①

## ■ 不動産セグメント資産の内訳・推移

(単位：億円)

種別	13.3期	14.3期	15.3期 1Q
賃貸不動産	7,544	6,658	6,167
賃貸中	6,034	5,369	5,061
開発中	1,510	1,289	1,106
マンション分譲資産	554	311	299
NRL・特定社債	1,134	488	※ 433
運営事業資産	1,614	1,598	1,686
その他	486	569	576
合計	11,332	9,624	9,161

※ 左記に含まれていない、国内グループ会社の保有するNRL・特定社債残高105億円（14/6末）

## ■ NOI利回り・空室率の推移

	13.3期	14.3期	15.3期 1Q
賃貸中物件の残高	6,034	5,369	5,061
NOI利回り	4.9%	4.8%	4.8%
空室率	3.8%	3.2%	4.3%

## ■ 賃貸不動産売却額の推移

	13.3期	14.3期	15.3期 1Q
売却額	1,634	1,010	524

# 補足資料 (11) 不動産セグメント資産②

(単位：億円)

## ■ 賃貸不動産内訳 (14.6末)

物件種別	賃貸中		開発中	合計
	資産	NOI利回り		
オフィスビル	1,798	3.9%	492	2,290
物流施設	202	7.8%	19	221
商業施設	1,194	6.3%	242	1,436
賃貸マンション	594	4.6%	74	668
その他	1,273	4.5%	279	1,552
合計	5,061	4.8%	1,106	6,167

## ■ 賃貸不動産 所在地別内訳 (14.6末)

	賃貸中	開発中	合計
東京	1,858	544	2,402
関東 (除く東京)	610	54	664
大阪	1,153	290	1,443
関西 (除く大阪)	283	7	290
名古屋	276	32	308
札幌・仙台・福岡	264	129	393
その他	617	50	667
合計	5,061	1,106	6,167

## 補足資料 (12) □ベコ

(億円)	14.3期 2Q	14.3期 3Q	14.3期 4Q	15.3期 1Q
セグメント利益	44	59	112	83
セグメント資産	3,289	3,650	3,751	3,685
ROA (税引後)	3.3%	3.7%	5.0%	5.7%

	14.3期 2Q	14.3期 3Q	14.3期 4Q	15.3期 1Q
期末運用資産残高 (単位:十億ユーロ)	197.1	205.2	210.7	223.0
純資金流入額 (単位:十億ユーロ)	0.1	0.6	2.1	2.9
期首運用資産残高に対する比率	0.1%	0.3%	1.0%	1.4%
機関投資家向け (単位:十億ユーロ)	94.3	96.1	101.1	106.6
個人投資家向け (単位:十億ユーロ)	102.8	109.1	109.7	116.4
純手数料収益 (単位:百万ユーロ)	177.8	188.2	182.9	200.3



## 補足資料 (13) 資金調達・手元流動性

	13.3期	14.3期	15.3期 1Q	(単位：億円)
CP	1,515	1,010	1,620	
金融機関借入	23,680	26,388	25,845	
社債・MTN	12,830	11,748	11,476	
預金	10,786	12,064	11,953	
小計	48,811	51,211	50,894	
ABS、CMBS	6,798	2,538	2,254	
長短借入債務および預金	55,608	53,749	53,149	
	13.3期	14.3期	15.3期 1Q	
コミットライン未使用額 (①)	4,395	4,272	4,120	
現金および現金等価物 (②)	8,263	8,273	8,281	
手元流動性 (①+②)	12,658	12,545	12,400	
市場性短期債務 (③) ※1	4,293	3,142	4,288	
手元流動性カバー率 ((①+②)/③)	295%	399%	289%	
長期比率 (ABS、CMBS除く) ※2	89%	92%	91%	

※1 1年以内に償還予定の社債・MTNと、CP残高の合計値

※2 米国会計基準に準拠していない財務指標です。米国会計基準に準拠して計算および表示された最も直接的に比較できる財務指標との調整表につきましては、31ページおよび32ページを参照下さい。

# 補足資料 (14) アセットクオリティ

(単位：億円)

## ■ アセットクオリティ (調整後※)

	13.3期	14.3期	15.3期 1Q
ファイナンス・リース残高	8,264	9,714	9,832
ファイナンス・リース90日以上未収債権額	158	139	150
営業貸付金残高	21,761	21,552	21,964
個別引当対象外貸付金90日以上未収債権額	77	61	59
個別引当対象貸付金債権額 (a)	1,681	1,200	*1 1,096
上記のうち担保等から全額回収が見込める債権額 (b)	380	220	201
要引当対象債権額 (a)-(b)	1,301	981	896
上記のうち担保等から回収が見込める債権額 (c)	779	557	509
貸倒引当金残高 (a)-(b)-(c)	522	423	386
不良債権比率 *2	6.4%	4.5%	4.1%

\*1 個別引当対象貸付金債権額1,096億円のうち、不動産担保等による保全額は630億円。貸倒引当金残高386億円と合わせた保全率は92.7%。

\*2 (ファイナンス・リース90日以上未収債権額+個別引当対象外貸付金90日以上未収債権額+個別引当対象貸付金債権額) ÷ (ファイナンス・リース残高+営業貸付金残高)

## ■ 貸倒引当金繰入額と貸倒引当金繰入率の推移 (調整後※)

	13.3期	14.3期	15.3期 1Q
貸倒引当金繰入額	101	133	5
貸倒引当金繰入率 *	0.34%	0.45%	0.07%

\* 貸倒引当金繰入額 ÷ (ファイナンス・リース投資の平均残高+営業貸付金の平均残高)

※上記には、変動持分事業体の連結にかかる会計基準の適用による影響額は含めておりません。

# 補足資料 (15) 米国会計基準に準拠していない財務指標①

本資料は、米国会計基準に準拠しない（Non-GAAP）財務指標が含まれています。具体的には、（１）証券化に伴う支払債務（ABS,CMBS）を控除した総資産および長期借入債務、2010年4月1日に適用された変動持分事業体（VIE）の連結にかかる会計基準による利益剰余金への累積的影響額を控除した当社株主資本や、さらにそれらを用いて計算したその他の指標および、（２）調整後のセグメント利益を、Non-GAAP財務指標として開示しています。

（１）のNon-GAAP財務指標は、2014年6月30日現在の財政状態を過年度期間と比較する上で意味のある追加的な情報を投資家に提供していると考えています。2010年4月1日に会計基準書アップデート第2009-16号および2009-17号（以下、「当会計基準」という。）を適用したことで、特定のVIEを連結することが求められました。当会計基準の適用は、連結財務諸表上の資産および負債の著しい増加と利益剰余金（税効果控除後）の減少をもたらしましたが、これら連結VIEへの投資から得られる正味のキャッシュ・フローや経済的効果は変わりありません。したがって、米国会計基準に準拠して計算された財務情報の補足として、特定のVIEを連結することによる資産・負債への影響を除いた財務指標を提供することは、現在の財政状態の全体的な理解を向上させ、当会計基準の適用による貸借対照表の大きな変動を除くこれまでの財務および営業のトレンドを投資家が評価することを可能にしていると考えています。

（２）のNon-GAAP財務指標は、2015年3月期のセグメント情報について、過年度期間と比較する上で、セグメント利益からキャピタルゲイン、貸倒引当金繰入および減損を除いたベース利益の情報を提供することで、セグメントにおける利益のトレンドを投資家が評価することを可能にしていると考えています。

米国会計基準に準拠した連結財務諸表の補足情報としてNon-GAAP財務指標を提供しており、Non-GAAP財務指標だけを利用したり、Non-GAAP財務指標をその最も直接的に比較できる米国会計基準に準拠した財務指標の代替指標として利用すべきではありません。これらNon-GAAP財務指標と米国会計基準に準拠した最も直接的に比較することができる財務指標との調整表を本資料で開示された期間について示すと、31、32ページのとおりになります。

## 補足資料 (16) 米国会計基準に準拠していない財務指標②

財務指標	(単位：億円)	13.3期	14.3期	15.3期 1Q
総資産	(a)	84,397	90,694	89,807
控除：ファイナンス・リースおよび貸付債権等の証券化に伴う支払債務		6,798	2,538	2,254
調整後総資産	(b)	77,599	88,156	87,553
短期借入債務		4,207	3,096	3,345
長期借入債務	(c)	40,615	38,589	37,850
控除：ファイナンス・リースおよび貸付債権等の証券化に伴う支払債務		6,798	2,538	2,254
調整後長期借入債務	(d)	33,818	36,050	35,596
長短借入債務（預金除く）	(e)	44,823	41,685	41,195
調整後長短借入債務（預金除く）	(f)	38,025	39,146	38,941
当社株主資本	(g)	16,436	19,187	19,435
控除：当会計基準の適用に伴う利益剰余金の累積的影響額		-166	-52	-34
調整後当社株主資本	(h)	16,602	19,239	19,469
当社株主資本比率	(g) / (a)	19.5%	21.2%	21.6%
調整後当社株主資本比率	(h) / (b)	21.4%	21.8%	22.2%
D/E比率（長短借入債務/当社株主資本）	(e) / (g)	2.7倍	2.2倍	2.1倍
調整後D/E比率（長短借入債務/当社株主資本）	(f) / (h)	2.3倍	2.0倍	2.0倍
長期借入比率（ABS, CMBS含む）	(c) / (e)	91%	93%	92%
長期借入比率（ABS, CMBS除く）	(d) / (f)	89%	92%	91%

# 補足資料 (17) 米国会計基準に準拠していない財務指標③

(単位：億円)

	財務指標	法人金融	メンテナンス リース	不動産	事業投資	リテール	海外	セグメント 合計	連結財務諸 表との調整	合計
13.3期	(a) ベース利益 ※1	261	349	250	291	421	375	1,947	-180	1,767
	(b) キャピタルゲイン ※2	3	0	165	190	37	193	588	-49	538
	(c) 貸倒引当金繰入	-3	1	4	-55	-26	-24	-104	4	-100
	(d) 減損 ※3	-1	-1	-364	-76	0	-16	-458	-22	-480
	セグメント利益	259	349	56	349	432	528	1,973	-248	1,726
14.3期	(a) ベース利益 ※1	221	387	229	299	495	656	2,288	63	2,350
	(b) キャピタルゲイン ※2	19	1	225	686	39	209	1,178	-145	1,033
	(c) 貸倒引当金繰入	10	-4	-21	-26	-35	-57	-132	-6	-138
	(d) 減損 ※3	-2	-13	-254	-18	0	-111	-397	-10	-407
	セグメント利益	249	371	180	941	499	697	2,936	-98	2,837
14.3期 1Q	(a) ベース利益 ※1	50	111	70	67	156	129	583	46	629
	(b) キャピタルゲイン ※2	2	0	48	44	28	65	187	-81	106
	(c) 貸倒引当金繰入	1	-1	1	0	-12	-12	-22	-2	-23
	(d) 減損 ※3	0	0	-63	-5	0	-26	-95	3	-92
	セグメント利益	52	110	55	107	172	155	653	-33	619
15.3期 1Q	(a) ベース利益 ※1	53	110	47	49	139	164	561	48	610
	(b) キャピタルゲイン ※2	4	0	86	51	154	239	534	1	535
	(c) 貸倒引当金繰入	1	0	0	0	-3	-4	-5	3	-3
	(d) 減損 ※3	0	0	-24	-1	0	-3	-28	0	-28
	セグメント利益	59	110	108	98	290	397	1,062	52	1,113

※1 ベース利益＝セグメント利益－キャピタルゲイン－貸倒引当金繰入－減損

※2 「有価証券等仲介手数料および売却益」、「不動産販売収入（原価ネット後）」、「賃貸不動産売却益」、「子会社・関連会社株式売却損益および清算損」、および「持分法投資損益」のうち不動産共同事業体持分利益相当額

※3 「長期性資産評価損」、「有価証券評価損」、「不動産販売原価」、「持分法投資損益」等の勘定科目に含まれる減損損失相当額

# 本資料に関する注意事項

---

本資料に掲載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。

従いまして、これらの見通しのみにも全面的に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。実際の業績は、外部環境および内部環境の変化によるさまざまな重要な要素により、これらの見通しとは大きく異なる結果となりうることを、ご承知おきください。

これらの見通しと異なる結果を生じさせる原因となる要素は、当社がアメリカ合衆国証券取引委員会（SEC）に提出しておりますForm20-Fによる報告書の「リスク要因（Risk Factors）」、関東財務局長に提出しております有価証券報告書および東京証券取引所に提出しております決算短信の「事業等のリスク」に記載されておりますが、これらに限られるものではありません。

本資料は、調整後の長期借入債務および有利子負債、調整後の総資産および調整後の当社株主資本や、さらにそれらを用いて計算されたその他の指標や、調整後のセグメント利益を含めた米国会計基準に準拠していない（Non-GAAP）特定の財務指標を含んでおります。Non-GAAP財務指標は、米国会計基準に準拠した連結財務諸表や表示を含んでいる最も直接的に比較できる財務指標に対して、分離または代用として考慮されるものではありません。これらNon-GAAP財務指標と米国会計基準に準拠した財務指標を最も直接的に比較することができる調整表につきましては、本資料31、32ページを参照下さい。

また、ハートフォード生命保険株式会社は現在オリックスグループの一員であり、The Hartford Financial Services Group, Inc.又はその関係法人の関連会社ではありません。

なお、本資料は情報提供のみを目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資の勧誘・募集を目的としたものではありません。

---

オリックスに関する追加情報については、弊社ホームページをご参照いただくか、  
下記までご連絡下さい。

投資家情報 : URL:<http://www.orix.co.jp/grp/ir/>

IR資料室 : URL:<http://www.orix.co.jp/grp/ir/library/>

オリックス株式会社 経営企画部

〒105-6135 東京都港区浜松町2-4-1

TEL : 03-3435-3121

FAX : 03-3435-3154